

# 京都三大学教養教育研究・推進機構

平成25年度 第4回公開研究会

## 演題：「コンピテンシー型教養教育の問題と再構築の指針 ―高等教育の質保証をふまえて―」

大学教育において、学生が学問領域の区別なく身に付けるべき汎用的な能力（ジェネリック・スキル）の育成が叫ばれるようになった。そのような汎用的な能力は、高等教育における学習成果として経済産業省が提唱する「社会人基礎力」や、文部科学省が提唱する「学士力」等にも多く含まれる概念となっている。高等教育の質保証が叫ばれる中、教養教育においても、「どのような能力を身に付けさせるのか」が議論の主なテーマとなり、教養教育において汎用的能力の育成を目標とした取組が増加している。それは、特にアカデミックライティング、情報リテラシー、キャリアデザイン等、初年次教育が育成の対象とするところにおいて顕著であるといえる。このような、身につけさせる能力、特に汎用的な能力を重視し、個別的な社会適応を追求する教養教育（「コンピテンシー型教養教育」と呼ぶ）は、一方で教養教育をより良いものへと再編していく契機となることが期待される。しかしながら、物事には光と影が必ず存在する。コンピテンシー型教養教育をより充実したものとしていくためには、その問題点を知らなくてはならない。本講演では、その問題点を「脱文脈化・自己目的化」「適応主義化」「個人化・シミュレーション化」という観点から検討する。それをふまえて、ご参加いただいた方々とともに、教養教育をいかにして再構築していけば良いかについて、意見交換を進められれば幸いである。

講師：杉原 真晃(すぎはら まさあき) 先生  
(山形大学 基盤教育院 准教授)

神戸大学卒業後、養護学校（特別支援学校）や幼稚園教員として4年ほど勤務。その後、京都大学大学院教育学研究科高等教育研究開発論講座に入学し、高等教育、教育方法学、教育工学等を学ぶ。山形大学では、教養教育の方法、FD論について研究している。

【専攻】教養教育論、学習共同体論、学習論

【著書・論文】

「〈新しい能力〉と教養 ―高等教育の質保証の中で―」松下佳代編『〈新しい能力〉は教育を変えるか ―学力・リテラシー・コンピテンシー―』ミネルヴァ書房、2010年

「現地体験型授業「フィールドワーク共生の森もがみ」のしくみ ―学習の質の向上と、地域と大学の持続可能な発展を求めて―」小田隆治・杉原真晃編『学生主体型授業の冒険』ナカニシヤ出版、2010年

「学生の力を「育てる」協働的FD ―山形大学の挑戦―」清水亮・橋本勝編『学生・職員と創る大学教育―FDの挑戦―』ナカニシヤ出版、2010年

平成25年10月15日(火)

開催時間：14:30～17:00

京都工芸繊維大学

60周年記念館 2階 大セミナー室

〒606-0951 京都府京都市左京区松ヶ崎橋上町1

地下鉄烏丸線「松ヶ崎駅」出口1 徒歩8分

参加申込方法（参加費無料）

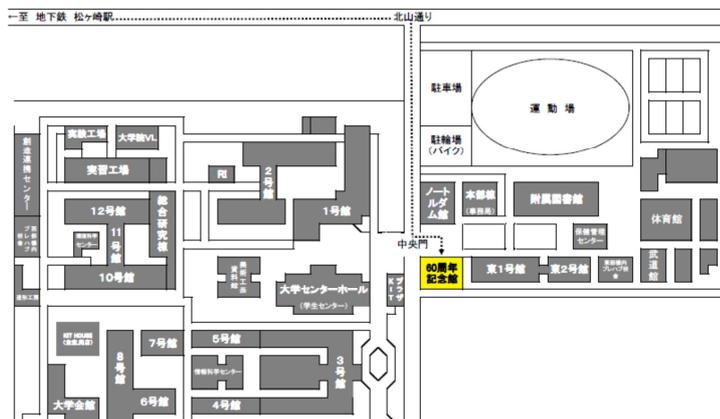
下記のメールアドレスに、お名前、ご所属、連絡先（メールアドレス、電話番号）をお送りください。

E-Mail : kyoyou@kpu.ac.jp

主催 ●京都三大学教養教育研究・推進機構（教育IRセンター）  
（京都工芸繊維大学、京都府立大学、京都府立医科大学）

後援 ●公益財団法人 大学コンソーシアム京都

文部科学省「大学間連携共同教育推進事業」  
時代が求める新たな教養教育



## 時代が求める新たな教養教育の構築

京都工芸繊維大学、京都府立大学、京都府立医科大学の国公立三大学の連携の取組は、すでに10年近い歴史があり、教養教育についても、平成17年に「中間まとめ」として、現在の取組の骨格にあたる内容がまとめられています。

本取組では、それぞれの大学の特徴・強みを生かしたカリキュラムを提供することにより、学生の多様な関心に応え、総合的に物事を観察し、的確に判断できる能力と豊かな人間性の涵養を図っていきます。平成26年度には、各大学が提供する科目によって、科目選択の幅が大きく広がり、学生のより多様な関心に応えることが可能になります。

本取組を推進する「京都三大学教養教育研究・推進機構」には、「リベラルアーツセンター」と「教育IRセンター」が設置され、教育プログラムの開発と教育の質保証を担っています。

## 北山文化環境ゾーンにおける三大学教養教育共同化施設（仮称）の建設

京都府が平成21年に策定した「北山文化環境ゾーン構想」の中で、京都府立大学は、植物園、総合資料館、コンサートホールとともに、文化・学術・環境地区を構成する一要素として位置付けられています。現在、本事業のために、鉄筋コンクリート3階建ての教養教育共同化施設（仮称）の建設が始まっています。その施設を中心に、共同化科目の授業が展開され、文部科学省補助事業の平成28年度終了時には、取組成果を「教養教育 京都モデル」として全国に発信していきます。



### 【JR京都駅、阪急烏丸駅から】

地下鉄烏丸線「北山」下車 1番出口から南へ徒歩7分

### 【京阪出町柳駅から】

市バス1「府立大学前」下車 徒歩5分

### 【JR二条駅から】

市バス206「府立大学前」下車 徒歩5分



Google maps より



1階には最大100~200名収容の講義室が計6室、食堂など充実の設備が予定されています。